

くまびょう

132号

NEWS

くまびょう
NEWS2008年
6月1日

[発行所]

国立病院機構熊本医療センター

〒860-0008

熊本市二の丸1番5号

TEL (096) 353-6501(代)

FAX (096) 325-2519

建設中の新病院がその外観を現しました

新病院建築の鉄入れが昨年6月1日に行われ、この6月1日で丸1年が経過しました。現在は、写真のようにすでに4階部分までの鉄骨が完成し、ようやくその外観を現して参りました。

新病院は旧看護学校・医師官舎跡地の道路に近い位置が1階となる7階建て、延床面積は現病院の約1.9倍と広がります。新病院は敷地内で西北の最も天守閣から離れた位置に建て、また高さも現在の病院より低くなります。1～3階は放射線治療・核診断部、給食、ボイラー・電気、医局、事務部門などになりますが、2階に地域医療研修センターがあり、ホールは今の1.6倍になり、天井は3階まで吹き抜けにして高くなります。

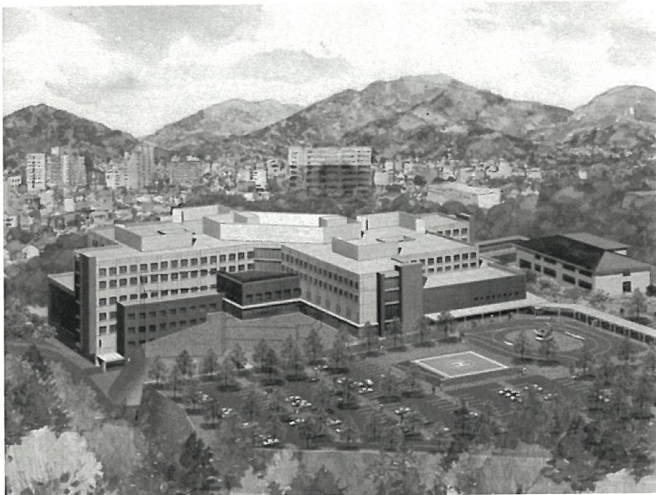
現病院の1階が新病院の4階部分に当たり、この階から建物が看護宿舎跡地まで拡がり、床面積が3階までと比べて約2倍になります。この4階に正玄関があり、受付、外来、放射線診断部門、救命救急センターが入ります。5階から7階が手術センター、病棟になります。病棟は、これまで通り11病棟、550床ですが、一般病床の個室率は35%に増え、また4人室も36㎡と

広くなり、患者様の入院環境が著しく改善されます。

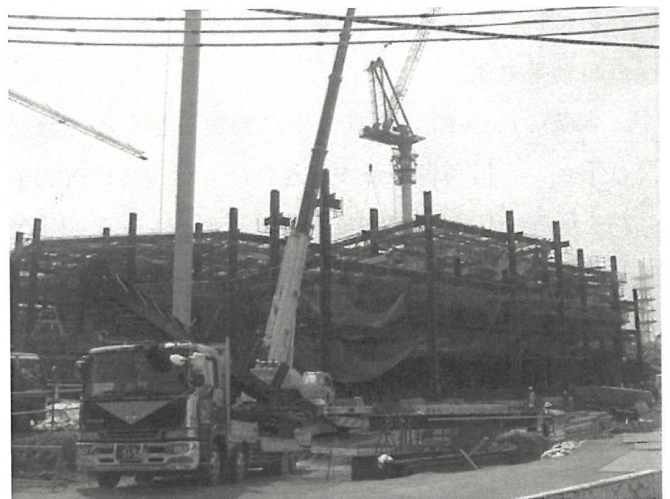
1階に歩行者用玄関を設け、ここからエレベーターで4階の外来に昇れますので、評判の悪かった「国立の坂登り」は解消されます。またエレベーターは計15機を備え、現在の長い「エレベーター待ち」も解消されると思います。4階に地域医療連携室、医療情報連携室、セカンドオピニオン室等を設置し、ハード面でも医療連携の充実を図ります。

来年9月建物竣工し、10月には新病院での診療が開始される予定です。工事もいよいよ佳境に入り、通院には大変ご迷惑をおかけ致しております。このため地域医療研修センター周囲の駐車は出来なくなり、地域医療研修センターにお越しの際も恐れ入りますが城内プール跡地駐車場のご利用をお願い致します。当院の新しい駐車場は、新病院開院後、現在の病院を取り壊し、その跡地に作る予定です。またそこにはヘリポートも併設されます。登録医の先生方には今後もしばらくの間大変ご迷惑をお掛け致しますが何卒ご理解、ご容赦下さいますようお願い申し上げます。

(副院長 河野 文夫)



1) 新病院の完成予想図



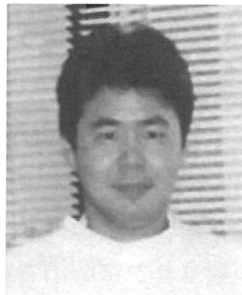
2) 新病院工事の進捗状況



誠意と感謝

—医師免許を手にした日を忘れずに—

赤星内科クリニック 院長 赤星 佳孝



当院は、四方寄町（旧北部町）に平成11年10月無床診療所として開業し、平成14年7月に現在地へと移転しました。開業当初より、地域に根ざした医療をと、いわゆる“町医者”を目指して愚直の一念で頑張ってきました。これまでやってこれたのも多くの方の助言や力添えを頂いたおかげと感謝しております。

国立病院機構熊本医療センター（当時は国立熊本病院）との関わりは、bicytopeniaを呈する患者様

をお願いしたのが最初でした。その方は、早急な対応が必要な状態でしたが、情報が少なく紹介先を決めかねていた時、河野先生がいらっしゃるのを思い出し図々しくも電話でお願いしてからでした。河野先生はお忙しいにも関わらず丁寧な受け答えで、状態を説明すると「分かった。よかよ。すぐに入院の手配をするから。」と快く引き受けてくれました。その言葉や声から受けた安堵感は何とも言えませんでした。

その方は結局Histiocytosis Xとの診断で不幸な転帰をとられたのですが、ご家族の方はとても感謝されておりました。それから現在まで、内科に限らず多くの患者様をお願いしてまいりましたが、ほとんどの方から「良くしてもらいました。有難うございました。」と感謝の言葉を頂きました。結果報告など事務的になりがちですが、患者様を通して感じられる先生方の医療に対する真剣さや本人・家族への細かい気遣いには常日頃から感謝しておりました。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

現在は、基幹病院が東バイパス沿いに集中し、国立病院機構熊本医療センターの担う責務は大変と思いますが、私も誠意と感謝の気持ちを忘れずに微力ながら地域医療に取り組んで参りますので、これからも今までと変わりなく、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

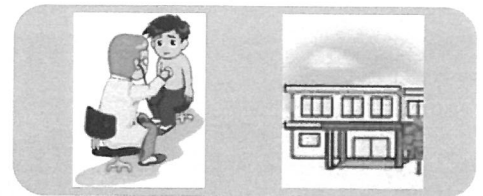
FAX紹介での時間予約制をご活用下さい

日頃、多くの患者様をご紹介頂きまして誠に有り難うございます。紹介患者様の待ち時間を短くするためにFAX紹介で時間予約ができます。月から金の日勤帯です。

当院のFAX紹介用紙に受診希望日を入れてお送り下さい。担当者がカルテを作成し希望日に時間予約を取りましてFAXにて返信致します。是非、FAX紹介での受診日の指定と時間予約制をご活用して頂き、患者様の待ち時間短縮にご協力下さい。よろしくお願ひ申し上げます。

（経営企画室長 堤内 俊一）

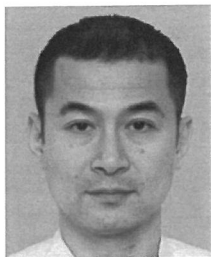
紹介患者様FAX時間予約のお願い



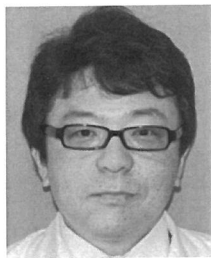
FAXにて
希望の日時を
申込下さい。

予約時間を
返信いたし
ます。





日高 道弘
 内科一般、白血病、リンパ腫
 貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会指導医
 日本内科学会専門医
 日本血液学会指導医
 日本血液学会専門医
 臨床修練指導医
 日本臨床腫瘍学会暫定指導医
 インфекションコントロールドクター



武本 重毅
 内科一般、白血病、リンパ腫、
 貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会認定医
 日本内科学会指導医
 外国医師臨床修練指導医
 日本医師会認定産業医
 日本臨床腫瘍学会暫定指導医



原田奈穂子
 内科一般、白血病、リンパ腫、
 貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会認定医



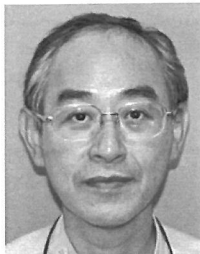
榮 達智
 内科一般、白血病、リンパ腫、
 貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会認定医



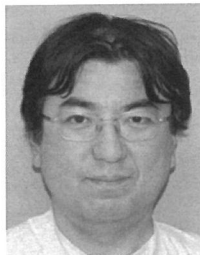
児玉 章子
 内科一般、糖尿病、高脂血症、
 肥満、高血圧、内分泌疾患

診療内容と特色

診療科の特定できない患者様の診療を行っています。
 専門にとらわれることなく総合的な見地からの的確な
 診断と治療を行い、専門治療が必要な場合はそれぞれ



清川 哲志
 内科一般、白血病、リンパ腫
 貧血、膠原病、移植医療
 日本内科学会指導医
 外国人医師臨床修練指導医
 熊本大学医学部臨床教授



長倉 祥一
 内科一般、白血病、リンパ腫
 貧血、膠原病、移植医療
 後天性免疫不全症 (AIDS)



森山 英士
 内科一般、肺癌、気管支喘息
 日本内科学会認定医
 がん治療認定医
 日本臨床腫瘍学会暫定指導医



宮中 敬
 内科一般、血尿、蛋白尿、
 腎炎、ネフローゼ、腎不全、
 血液浄化、高血圧、電解質異常
 日本内科学会認定医
 日本透析医学会専門医



井上 佳子
 内科一般、白血病、リンパ腫、
 貧血、膠原病、移植医療

の診療科へ紹介し、また場合によっては共同で診療し
 ています。不明熱、全身倦怠、原因不明の体重減少な
 どの症状、または複数の症状があり診療科を特定でき
 ない場合などが対象となります。

月曜会のご案内

毎月第3月曜、午後7時より、当院地域医療研修セ
 ンターホールにて、公開の内科合同カンファランス
 (月曜会)を開催しています。内容は、チェストカン
 ファランス、院外の先生方の持ち込み症例の検討、担
 当科からの症例報告、明日の臨床に役立つミニレクチャー
 などです。

どうぞお気軽にご参加下さいますようお願い申し上
 げます。

最近のトピックス

脳梗塞治療における最近の動向



脳神経センター
神経内科医長

田北 智裕

昨年、厚生労働省は第五次医療法改正に伴って4疾患5事業を指定し、各都道府県の医療計画において医療連携体制づくりを義務付け、必要な医療機能と担当医療機関の公表を求めました。この4疾患の中に「脳卒中」が含まれており、熊本県もこれを受けて、県内における脳卒中急性期拠点病院及び脳卒中回復期医療機関を先日公表致しました。この急性期拠点病院の中にこの国立病院機構熊本医療センターも当然入っております。

脳卒中急性期医療の役割を担うにあたっては、A. 早急かつ確実な診断・治療が行える体制、B. 回復期を含めた後方支援病院との連携、の2点が特に重要です。

Aに関しては、重要なポイントの1つとして血栓溶解療法を行えるかどうかが挙げられます。

2005年の10月より脳梗塞においてtPA (alteplase) 静注による血栓溶解療法が正式に認可されました。対象は、発症時刻が明確で、発症後3時間以内に治療開始可能な、比較的重症の脳梗塞患者です。閉塞した血

栓を溶解し血流を再開させ、梗塞にまで至っていない脳組織を助けるこの治療法は画期的ですが、神経症状の劇的な改善が期待できるという反面、出血をきたし最悪の場合死に至る可能性も含んでおり、高度な判断を必要とする難しい治療法です。

本治療を行うにあたっては、適応症例を選択する上で厳しい基準があり、更に以下の施設基準が設けられています。1. CTあるいはMRIが24時間可能である。2. 急性期脳卒中に対する十分な知識と経験を持つ医師（日本脳卒中学会専門医など）を中心とするストロークチーム及び設備（SCUあるいはそれに準ずる病棟）を有する。3. 脳外科的処置が迅速に行える。4. 実施担当者が日本脳卒中学会の承認する本薬使用のための講習会を受講し、その証明を取得する。

これら4つの基準を当院はクリアしております。

下図に当院で実際血栓溶解を行った患者様の頭部画像を示しておりますが、図1にて認められている左中大脳動脈の閉塞が、発症2時間30分後のalteplase投与によって、図2では閉塞部が再開通していることがわかると思います。本症例は来院時右上下肢はほぼ完全片麻痺で全失語状態でしたが、最終的に右片麻痺はごく軽度に、失語も言語理解は良好になるまで改善しました。このように当院では脳梗塞超急性期における診療体制も十分に備えております。

また、Bの後方支援病院との連携についても、この4月から正式に脳卒中地域連携パスを運用しながら情報交換を行い、急性期だけでなくその後の回復期や維持期あるいは自宅復帰までも見据えた治療を展開していければと考えております。

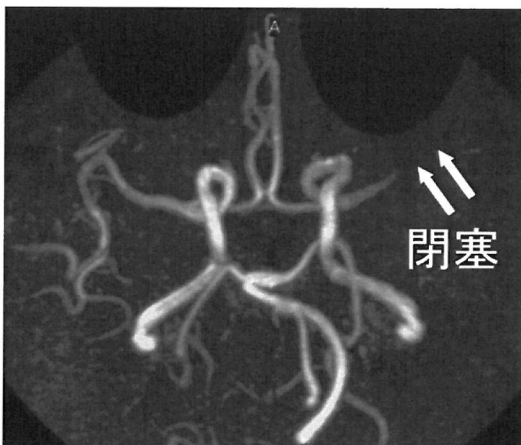


図 1



図 2

新任職員紹介



産婦人科医長

にしむらひろし
西村弘

平成20年4月より当院産婦人科に勤務しております西村弘です。出身は下関市で昭和57年に熊本大学医学部を卒業し産婦人科へ入局しました。その後大学院を卒業してから外勤・医員を経て、平成4年7月より平成18年3月まで下関厚生病院に勤務しておりました。生まれ故郷

で勤務を続けるつもりでしたが、昨今の産婦人科医減少の影響から熊本県にて再度勤務するように依頼され、牛深市民病院と天草中央病院にて天草郡市の周産期医療の再編成と体制づくりに尽力しておりました。体外受精等不妊・内分泌が専門分野でしたが、今回はかねてからの希望が叶い、婦人科腫瘍学を当院にてあたらせて頂くことが出来るようになりました。

熊本県の中核病院としての役割をますます発揮出来るように当院にて努力するつもりですので、宜しくお願い申し上げます。



呼吸器センター

呼吸器内科

もりやまえいし
森山英士

4月1日から呼吸器内科勤務となった森山英士と申します。1992年に宮崎医科大学を卒業し、熊本大学第一内科に入局しました。2年間の研修の後、宮崎県立

延岡病院・熊本再春荘病院・水俣市立総合医療センターに勤務しました。

1997年より3年間国立がんセンター東病院にて呼吸器内科レジデントとして研修し胸部悪性腫瘍を中心に臨床腫瘍学について学びました。その後は、熊本大学・熊本再春荘病院・熊本赤十字病院に勤務し、肺癌を中心に診療させて頂きました。色々とお世話になる事もあるかと思われませんが、御指導御鞭撻の程よろしくお願い致します。



心臓血管センター

循環器科

こがひてのぶ
古賀英信

4月より循環器内科勤務となりました古賀英信です。平成9年熊本大学医学部卒業、12年目です。

熊本中央病院、熊本赤十字病院、荒尾市民病院にて

冠動脈インターベンション（PCI）を中心に循環器治療を行い、大学院にて3年間血管内皮細胞由来の内皮細胞障害マーカーに関する研究で学位を取得しました。卒業後は天草地域医療センターにてインターベンションを中心に虚血性心疾患、心不全、ペースメーカー治療などに2年間従事しました。PCIに関してはless invasiveであるTRI（radial artery approach intervention：TR愛）をモットーにしております。

よろしくお願い致します。



感覚器センター

眼科

うらのたかし
浦野貴之

平成20年4月より眼科で勤務させて頂くことになりました浦野貴之と申します。

平成11年3月に熊本大学医学部を卒業後、熊本大学眼科学教室へ入局致しました。研修医時代は大学病院、

熊本赤十字病院で過ごし、その後は高千穂町国民健康保険病院、再び大学病院で勤務を致しました。医師5年目に大学院へ進み、眼科領域にて重篤な視力障害を来す疾患、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性症の中心的な病態である血管新生について研究を致しました。

昨年春に大学院を修了、大学病院勤務を経て当院勤務となりました。当院では眼科である専門性を活かし、他科の先生方と連携を取り、より良い医療とは何かを考え、努力して参りたいと思います。

何卒、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

新任職員紹介



外科

まつもと かつたか
松本 克孝

4月より赴任致しました、松本克孝と申します。どうぞよろしくお願い致します。

平成14年から16年6月まで当院に勤務させて頂きましたので、私の顔に見覚えのある方も多いかと思います。

平成11年に順天堂大学を卒業し、2年間の外科研修の後に、平成13年に父・祖父の出身医局である熊本大

学第二外科へ入局、大学病院で1年間研修し、国立熊本病院（当時）へ外科レジデントとして2年間勤務を致しました。その後、国立病院機構都城病院に外科医師として約4年間勤務し、今回の異動となりました。

都城病院では、部長を含めた4名の外科医師とともに、馬車馬（びったりの表現だと思います）の如く、外来・手術・化学療法・内視鏡検査・治療などを行って参りました。今回、再び当院に勤務することができて本当に嬉しく思っております。

今年で節目の10年目となります。諸先生方にはいろいろご迷惑をおかけするかと思いますが、宜しくご指導賜りますようお願い申し上げます。



消化器病センター

消化器科

おのうえ きみひろ
尾上 公浩

この度、熊本大学医学部附属病院の消化器内科より異動して参りました尾上と申します。医師8年目になります。

大学では食道静脈瘤、炎症性腸疾患、消化器癌の化

学療法、重症膵炎を中心に診察して参りました。今後は、今までの経験を生かしつつ、救急疾患、外来診療を学びたいと考えております。

救急車とはあまり縁の無い生活をしばらく送っていたため、不安な点もあります。また、オーダーの仕方や、病院のシステムにもまだ慣れていませんのでご迷惑をかける点が多々あると思います。

今後、国立病院機構熊本医療センターの一員として、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



感覚器センター

皮膚科

まきの かつなり
牧野 雄成

2008年4月より皮膚科勤務となりました牧野雄成と

申します。

2003年信州大学医学部を卒業、熊本赤十字病院で3年間研修医、救急医として勤務後に熊本大学皮膚科に入局致しました。その後、麻生飯塚病院勤務を経て、今年より当院勤務となっています。

皮膚病の診療を通して患者様が健康に過ごせるよう努力する所存です。宜しくお願い致します。



脳神経センター

神経内科

たかまつ こうたろう
高松 孝太郎

本年4月よりお世話になっております高松孝太郎です。

平成15年に熊本大学医学部を卒業、熊本大学神経内科に入局しています。平成16年10月から3月までの半

年間は国立病院機構熊本医療センターで研修させて頂きました。その後、平成17年度は熊本市民病院神経内科、平成18年度は大牟田天領病院神経内科で勤務、今年3月までの1年間は国立病院機構熊本再春荘病院で神経難病（筋ジストロフィー、ALS、パーキンソン病等）を中心に診療しておりました。昨年度は、神経難病患者様を中心に治療しており、救急症例は少なく、4月からの勤務には不慣れなこともあると思います。他科の先生方にお世話になることも多々有りますが、何卒よろしくお願い致します。

新任職員紹介



消化器病センター

消化器科

佐藤 有紀子

今年度よりお世話になります消化器科の佐藤有紀子です。

熊本大学医学部附属病院・福岡徳洲会病院で前期研

修後、昨年度は熊本大学医学部附属病院消化器内科で1年間後期研修を行いました。

国立病院機構熊本医療センターは症例数が多く救急も充実しているため、大変ですがやりがいのある職場だと感じます。

まだまだ勉強中ですが、少しでも患者様に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

よろしくお願ひ致します。



精神・神経科

小山 一静

はじめまして。2008年4月1日より、精神・神経科で勤務させて頂くこととなりました小山一静と申します。

2005年に長崎大学を卒業し、熊本大学医学部附属病院で1年間、天草中央病院で1年間の研修（スーパーローテート）を行いました。昨年、熊本大学神経精神科に入局し、大学で勉強させて頂きました。

元来ゆったりとした性格なもので、地域の救急病院として活躍する当院でお役にたてるかわかりませんが、笑顔を大切に皆様方に必死でついていきたいと思ひますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



外科

美馬 浩介

4月から外科で勤務させて頂くことになりました美

馬浩介と申します。2005年に熊本大学医学部を卒業後、2年間の初期臨床研修を終了し、2007年に熊本大学大学院消化器外科学教室に入局しました。入局後2年目となります。

とにかく何事にも積極的に取り組む姿勢で頑張りたいと思ひますので、何卒、御指導御鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



整形外科

田原 隼

4月より整形外科に勤務させて頂くことになりました田原隼（たはら じゅん）と申します。

平成17年に熊本大学医学部を卒業後、研修医2年間を経て、平成19年に熊本大学整形外科に入局し、今年が2年目となります。

国立病院機構熊本医療センターには研修医の1年目に勤務し、各科の先生方にご指導頂きながら多くの経験をさせて頂きました。

当院の整形外科は骨折や外傷症例が多く、知識・経験ともに力不足を感じることはばかりですが、指導して下さる先生方やスタッフに恵まれ、充実して診療に取り組んでおります。

整形外科医としてのほんのスタート地点にたったばかりであり、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

■原稿を募集致します■

登録医の先生の投稿を歓迎致します。400～800字程度を基準にお願ひ致します。

送付先 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 『くまびょうNEWS』編集室まで

研修医レポート

整形外科

やなぎ さわ あき ひろ
柳 澤 哲 大



2007年4月より国立病院機構熊本医療センターの初期臨床研修でお世話になっております、柳澤哲大と申します。

1年次に血液内科、呼吸器科、消化器科、外科、救命救急部、麻酔科を回り、先生方を始め看護師さんな

ドメディカルスタッフの方々のおかげで何とか1年間乗り切ることが出来ました。ありがとうございました。2年次は精神科、整形外科、地域医療、産婦人科、循環器科、放射線科、形成外科、小児科、腎臓内科、神経内科、皮膚科を回らせて頂きます。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

あっという間の1年でした。1つの科が終わり、振り返るまもなく次の科がやってくる。詰め込むだけ詰め込んで、なかなか消化できないといった印象でした。そうした中でも、少しずつ出来ることが増え、得た知識を使ったり、患者様やご家族との接し方も上達してきたかなと思っております。

来年以降のことも見据えて、目の前のことを1つ1つ真剣に取り組んでいきたいと思ひます。そして、患者様のため日々精進していきたいと思ひます。

産婦人科

やま だ しゅう
山 田 周



はじめまして。国立病院機構熊本医療センターの初期臨床研修プログラムでお世話になっております、山田周と申します。

私は、大分上野ヶ丘高校から熊本大学医学部へすすみ、2007年4月より研修医として働き始めました。昨年度は代謝・内分泌内科、消化器科、神経内科、外科、救命救急部、麻酔科と研修し1年を終えました。本年は泌尿器科、精神科と研修し、6月より産婦人科で研修させて頂いております。

もともと国立病院機構熊本医療センターでの研修を選んだ理由は、学生時代の実習中に感じた、スタッフ同士の垣根の低さからでしたが、実際に働いてみて、想像以上に垣根が無いことに驚かされました。話しか

けるのも憚られる様なベテランの先生方が、廊下をすれ違いざまに気軽に話しかけてくださる。食事を取る暇も無い程忙しい先生が、一言相談すると30分もかけて教えてくださる。臨床について何一つ知らない状態でスタートした私ですが、この様な暖かい環境の中で、指導医、看護師をはじめ、たくさんのスタッフの方々に助けて頂き、どうにか1年間を乗り切ることができました。本当に基本的な事から丁寧に教えて頂き、皆様には非常に感謝しております。嵐のように過ぎ去った1年間でしたが、その中で多少なりとも成長を実感できるようになりました。

この4月からは新採用の研修医、看護師を迎えました。自分がそうして頂いた様に、微力ながら手助けをしたい。また決して思い上がらぬように、謙虚に積極的に、残り1年の研修期間を過ごしていきたいと思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

くまびょうNEWS55号から継続して掲載されています。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~knh/>

研修のご案内

第113回 月曜会 (無料)

(内科症例検討会)

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

日時▶平成20年6月16日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 胸部X線写真供覧 国立病院機構熊本医療センター呼吸器センター呼吸器内科医長 柏原 光介
2. 持ち込み症例の検討
3. 症例呈示「消化器症状で発症した心筋炎の1症例」
国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター循環器科 原田 恵実
4. ミニレクチャー「t-PA静注療法と注意点」
国立病院機構熊本医療センター脳神経センター神経内科 幸崎弥之助

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線写真、心電図等がございましたら、ご持参下さいますようお願い致します。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター内科部長 清川 哲志 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

第22回 熊本がんフォーラム(無料)

日時▶平成20年6月18日(水)18:30~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

司会 国立病院機構熊本医療センター産婦人科部長 三森 寛幸

「若い女性にしのびよる子宮頸がん～あなたは子宮を失うことをイメージしたことがありますか～」

熊本大学大学院医学薬学研究部婦人科学教授 片淵 秀隆

その他、一般演題を数題準備しています。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター研修部長 清川 哲志 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

第82回 三木会 (無料)

(糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会)

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

[日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]

日時▶平成20年6月19日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 教育研修棟4F

1. 「2型糖尿病の治療中に中心性肥満を呈しクッシング病と診断された1例」
国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科
豊永哲至、西岡裕子、児玉章子、高橋毅、東輝一朗
2. 「ステロイドパルス療法中のインスリン治療について」
自衛隊熊本病院 安谷屋徳章、小西美絵乃
3. 「糖尿病と膵臓癌 一糖尿病は膵臓癌の早期診断につながるのか」
国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科
東輝一朗、西岡裕子、児玉章子、豊永哲至、高橋毅

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一朗 TEL:096-353-6501(代表)内線705

第91回 救急症例検討会 (無料)

日時▶平成20年6月25日(水)18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

テーマ:症例検討「精神科救急」 国立病院機構熊本医療センター精神科医長 渡邊健次郎
医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、救急救命士、救急隊員、事務部門等全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL:096-353-6501(代表)内線263 096-353-3515(直通)

第223回 初期治療講座 (会員制)

[日本医師会生涯教育講座5単位認定]

日時▶平成20年6月28日(土)15:00~18:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

「慢性腎臓病(CKD)対策」

座長 熊本県医師会理事 飯星 元博

1. 大学病院の立場から 熊本大学医学部附属病院腎臓内科 江田 幸政
2. 市民病院の立場から 熊本市立熊本市市民病院腎臓科部長 中村 享道
3. 国立病院機構熊本医療センターの立場から 国立病院機構熊本医療センター腎センター長 富田 正郎

この講座は有料で、年間10回を1シリーズ(年会費20,000円)として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は会費5,000円で参加いただけます。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL:096-353-6501(代表)内線263 096-353-3515(直通)

2008年

研修日程表

6月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

6月	研修ホール	教育研修棟 4階	その他
2日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
3日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
5日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
6日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
7日(土)	14:00~16:00 第206回 滅菌消毒法講座《会員制》 「滅菌の基礎」	国立病院機構熊本再春荘病院麻酔科医長 柴田 義浩	
9日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
10日(火)	19:00~20:30 熊本臨臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 19~21 泌・放射線科合同ウログラム C
12日(木)	18:30~20:00 病薬連携研修会		7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
13日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
14日(土)	9:30~16:00 第22回 ナースのための心電図セミナー《会費制》 〈講演〉心電図の基礎 各種心疾患における心電図 不整脈 〈実習〉心電計の取り扱い方	国立病院機構熊本医療センター循環器科医長 宮尾 雄治 国立病院機構熊本医療センター循環器科医長 藤本 和輝 末藤内科循環器科院長 末藤 久和 国立病院機構熊本医療センター循環器科医長 藤本 和輝 国立病院機構熊本医療センター循環器科 古賀 英信 国立病院機構熊本医療センター循環器科 原田 恵実 国立病院機構熊本医療センター循環器科 金澤 尚徳	
16日(月)	19:00~20:30 第113回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定]		8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
17日(火)	18:00~19:30 第43回 くすりの勉強会(公開)	18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
18日(水)	13:00~17:00 糖尿病教室 18:30~20:30 第22回 熊本がんフォーラム 「若い女性にのびよる子宮頸がん -あなたは子宮を失うことをイメージしたことがありますか-」 司会 国立病院機構熊本医療センター産婦人科部長 三森 寛幸 講師 熊本大学大学院医学薬学研究所婦人科学教授 片瀨 秀隆		12~13 糖尿病教室 研食
19日(木)	19:30~21:30 第49回 有病者歯科医療講演会 座長 熊本市歯科医師会会長 古賀 明 「歯科医療に必要な認知症の知識」 熊本大学大学院医学薬学研究所脳機能病態学教授 池田 学	19:00~20:45 第82回 三木会 (糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定] [日本糖尿病学会指導士認定更新のための研修単位<2時>0.5単位認定]	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
20日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
23日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
24日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(会) 19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
25日(水)	18:30~20:00 第91回 救急症例検討会 「精神科救急」		
26日(木)	18:30~20:00 日本臨床細胞学会熊本県支部研修会	19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
27日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
28日(土)	15:00~18:00 第223回 初期治療講座《会員制》 「慢性腎臓病(CKD)対策」 座長 熊本県医師会理事 飯星 元博 1. 大学病院の立場から 熊本大学医学部附属病院腎臓内科 江田 幸政 2. 市民病院の立場から 熊本市立熊本市市民病院腎臓科部長 中村 享道 3. 国立病院機構熊本医療センターの立場から 国立病院機構熊本医療センター腎センター長 富田 正郎		
30日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来

(会) 会議室 C 病院本館2階カンファレンス 手 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム 心リハ 心大血管リハビリテーションセンター 研食 教育研修棟食堂
問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター
TEL 096-353-6501(代)内線263 096-353-3515(直通)